

2022年度 安全目標/実施計画管理表

結城運輸倉庫(株) 営業所

目標			計画					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
安全目標	達成基準	評価	実施項目	実施者	対象	実施回数、実施時期	達成基準	評価														
1	コンタミ事故ゼロ	コンタミ事故0件	◆荷卸しパトロール、モニタリング、チェック																			
			①荷卸しパトロール	支店安全担当、所長、他	全乗務員	適宜実施	荷卸し確認書活用。配管残油絞り徹底。作業手順飛ばし無し															
			②ハイテックモニタリング	所長、他	全乗務員	上期中2回	配管残油絞り徹底。ハイテックログと荷卸し確認書が整合している。COMへ報告している															
			③荷卸し確認書モニタリング	所長、運行管理者	全乗務員	毎日	荷卸し確認書活用徹底。新荷卸し確認書の運用を理解している															
			◆乗務員管理																			
			①荷卸し訓練	支店安全担当、所長、他	全乗務員	上期中1回	ローリー作業基準に則った荷卸しを実施している															
			②道徳教育	所長	全乗務員	年3回(6月、10月、2月)	コンタミ隠蔽で拡大する被害や、想定される結果を、自覚させる教育を実施する															
			③ハイテック教育	支店安全担当、所長、他	白油ローリー乗務員	年1回	ハイテックに対する知識を高め、正しい操作、あるいは対応が出来る															
			◆車両、配送先、設備機器適正維持																			
			①底弁、各種仕切弁	所長、整備管理者、他	白油ローリー	年1回(4月)																
			②隔壁、配管	所長、整備管理者、他	白油ローリー	年1回(4月)	全車両点検し健全性を維持している(点検要領による)															
			③ロックピン(ロック板)	所長、整備管理者、他	セミハイテックローリー	年2回(4月、10月)																
			④荷卸し立会いキャンペーン	安全管理部、所長、他	全乗務員	年2回(自社6月、COM10月)	相互立会いの定義を理解できている。SSの立会い状況が把握出来ている															
2	交通人身事故ゼロ	交通人身事故0件	◆モニタリング、チェック																			
			①コンプライアンス	所長、運行管理者、他	全乗務員	毎日	アルコールチェック違反、急加速・急減速、速度超過、件数ゼロ															
			②ドラレコモニタリング	所長、運行管理者、他	全乗務員	年1回	全乗務員安全運行を励行している(点検要領による)															
			◆乗務員管理																			
			①国土交通省告示第1366号に準拠した教育	所長、運行管理者、他	全乗務員	月1回(安全衛生会議時)	安全運行に必要な知識を持つ(新入社員は教育課程による)															
			②車両移動訓練	所長、運行管理者、他	全乗務員	年1回	大型車の死角等注意点を理解する。個々の技術や特性を確認する															
			◆車両、設備機器適正維持																			
			①車両日常点検	乗務員、整備管理者	全車両	毎日	全車両日常点検を実施し健全性を維持している(点検要領による)															
			②ローリーホースボックス、ツールボックス点検	所長、整備管理者	全ローリー車	年1回(消防点検時)	全車両点検し健全性を維持している(点検要領による)															
			3	事故・不正が起きづらい組織作り	施設内破損事故0件 全営業所365日達成	◆コミュニケーション強化																
①点呼	運行管理者、補助者	全乗務員				毎日	健康起因事故防止、適性診断をもとにした指導、配送先情報(3Hのリスク)を確認															
②グループミーティング	グループ長	グループメンバー				毎月	正しいコミュニケーション状態維持、協働の意志醸成、情報共有															
③運行管理者研修	社長	運行管理者、補助者				年2回	点呼執行者のスキル向上を図り、運行管理面から事故根絶を図る															
◆乗務員管理																						
①安全衛生会議	安全管理部、所長、他	全乗務員				毎月	安全教育、事故事例共有、情報共有を通じて、一体となって安全活動を推進する															
②ドライバー実地教育	安全管理部、他	全乗務員				年2回	乗務員の力量不足・知識不足による事故を撲滅する															
③配送先、配送経路危険情報共有	所長、運行管理者、他	所長、運行管理者、乗務員				毎日	配送先、運行経路の情報を収集、更新、展開(需要家荷卸し立会い状況を把握)															
◆異常事象対応訓練																						
①初動対応訓練	安全管理部	営業所員				年4回(5月、7月、9月、11月)	管理者不在時、運行管理者あるいは事務所スタッフが正しい手順で事故対応出来る															
②BCP訓練	BCPプロジェクトチーム	本部含む全拠点		年1回(11月)	実戦に即した災害対策訓練を実施する(実施要領による)																	
③異常事象発生時の対応	所長、運行管理者、他	本部含む全拠点			異常事象発生時の対応が適切であったか。																	
本日安全重点日および一貫テーマの安全活動																						
①乗務前点呼立会い	所長	所長、点呼執行者、乗務員	毎月(第1水曜日)	乗務前点呼にて、乗務員へ安全メッセージを伝達。安全意識高揚を図る																		
②始業点呼実施チェック	所長	点呼執行者		正しい点呼を実施している(実施要領による)																		
③乗務員と関わる(添乗、訓練、パトロール)	所長、支店安全担当、他	全乗務員		教育訓練を通じて乗務員に関わる(各項目実施要領による)																		

評価基準：A=達成 B=一部達成 C=未達成

●:実施 ▲:不十分 ×:未実施